

## 令和8年度第1回涌谷町地域公共交通会議 議事録

### 1 日時

令和8年5月13日（水）午前10時30分から11時45分まで

### 2 場所

涌谷町役場2階 大会議室

### 3 議事録

（事務局）本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

ただいまから令和8年度第1回涌谷町地域公共交通会議を開催いたします。

出席者の紹介につきましては、大変恐縮ですが、時間も限られておりますので、お手元に配布しております出席者名簿にて代えさせていただきます。

なお、本日はオブザーバー参加といたしまして、涌谷町社会福祉協議会様に参加いただいております。どうぞよろしく願いいたします。

では、会議の開始に先立ちまして、会長の涌谷町長遠藤积雄からご挨拶をお願いしたいと思います。

（遠藤会長）委員の皆様におかれましては、本会議に参加いただきありがとうございます。特に、昨年度に引き続きまして、宮城大学の徳永特任教授様には、また本年度もご指導いただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年度は、令和6年度に策定いたしました、涌谷町の地域公共交通計画の初年度として、計画の重点施策に位置づけております町民バスの最適化・ダイヤの再編を検討、実施したところです。

バスにおきましては、成沢地区、笹岳山地区の2地区におきまして、利用実態を踏まえて、バスによる運行を廃止するとともに、新たな公共交通サービスといたしまして、乗合タクシーを今年の4月から1年間実証運行として開始し、より柔軟で安全な交通サービスの提供を目指しているところでございます。

今年度は乗合タクシーの来年度からの本格運行に向けて、利用向上に向けた周知や、利用者へのアンケート調査等による利用実態とニーズの把握に努めるとともに、ダイヤ改正をした町民バスにおきましても、改正後の利用状況を注視しながら、引き続き利用しやすい利便性の高い公共交通の最適化を目指してまいりますので、今年度もこれまで同様にご指導をよろしくお願い申し上げます。

短い時間ではございますけれども、皆様方の活発な協議をいただきたいものと思っておりますので、本日の会議におきましては、どうぞ皆様方よろしくご指導をお願いしたいと思います。

(事務局) ありがとうございます。それでは今後の進行につきましては、遠藤会長にお願いしたいと思えます。遠藤会長お願いいたします。

(遠藤会長) それでは、早速次第3の協議事項に入らせていただきます。

(1) 令和7年度収支決算(案)について、まずは事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 協議事項1「令和7年度収支決算(案)」について事務局より説明いたします。資料1をご覧ください。

令和7年度の収支決算としまして、まず歳入の決算額については、各項目において1. 負担金として涌谷町からの負担金265万5,025円を、3. 雑収入として預金利息7,965円となっており、歳入の合計が266万2,990円となっております。

歳出の決算額といたしましては、まず合計が歳入と同額の266万2,990円となっております。各項目における支払いについては、1. 運営費においては、委託業者への委託料の支払いに係る振込手数料として990円を、2. 委託料においては、昨年度実施しましたバスの最適化に向けたダイヤ改正や、新たな交通サービスである乗合タクシーの導入に向けた技術的指導、助言等の事業支援として、特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センターに委託した地域公共交通再編検討支援業務の委託料266万2,000円となっております。

なお、予算額との差額の要因としましては、歳出における請け差や予備費の支出がなかったことにより、歳入歳出ともに減となっているものです。

また、会計簿としまして、令和7年度の運営資金として年度初めに歳入科目の1. 負担金の予算額340万円を一般会計より受領しておりましたが、執行残による通帳残高74万4,975円全額を一般会計に戻し入れたため、通帳残高は0円となっております。

よって、歳入から歳出を差し引いた金額は0円であるため、翌年度への繰越金はありません。以上で、令和7年度涌谷町地域公共交通会議収支決算の説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

(遠藤会長) ただいま事務局より説明のあった決算報告について、監事より監査報告をお願いします。

(岩淵委員) 令和7年度涌谷町地域公共交通会議収支決算書の内容について、令和8年4月30日に監査を実施したところ、適正に処理され正当であることを認めます。以上です。

(遠藤会長) ただいま説明のありましたことについて、委員の皆様の方から質疑等ございますか？

(徳永委員) 1点だけ確認を。委託料のところでは予算より68万円ほど安く済んでおりますが、これは途中で減額したわけではなく、当初契約の段階での請け差という理解でよろしいか。

(事務局) お見込みのとおり、当初の見積合わせの段階で266万2,000円での契約となりまして、そのまま仕様のとおりに履行を確認したものです。

(遠藤会長) ほかにございますでしょうか。無ければ、協議事項について決議を取りたいと思います。

協議事項(1) 令和7年度収支決算(案)について、賛成の方は拍手をお願いいたします。

【全委員賛成】

それでは、協議事項について承認いたします。

(遠藤会長) 続いて、報告事項に入ります。

報告事項(1) 委員の指名について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 事務局より説明いたします。お手元に配布しております次第裏面の名簿をご覧ください。

涌谷町地域公共交通会議における委員の委嘱につきましては、昨年度は令和6年4月から令和8年3月までの2年間委嘱しておりまして、昨年度末で一度任期が満了したことにより、今年度4月から令和10年3月までの2年間、今回改めて委嘱させていただくものになります。

改めまして、新たに委員をお願いする方々、昨年度より引き続きお願いする皆様におかれましては、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

以上で報告事項(1) 委員の指名についての報告を終わります。

(遠藤会長) ただいま説明のありましたことについて、何かございますか？

なければ、次の議題に移ります。

協議事項(2) 令和7年度事業総括及び令和8年度事業計画について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 涌谷町地域公共交通における令和7年度事業の総括と、令和8年度事業計画について、事務局よりご説明いたします。資料2の2ページをご覧ください。

まず令和7年度の事業総括でございます。令和7年度に実施した事業について、公共交通計画で設定した取組方針及び施策ごとに整理しております。

取組方針1 地域住民に寄り添う公共交通の運行サービスの最適化 については、主に町民バスの過去の利用実態から、利用が少ない山間部への地域への路線をバスから乗合タクシー事業へ転換と、バス利便性向上のため、鉄道との乗継や往復利用を考慮した利用しやすいダイヤ改正を実施しました。

取組方針2 誰にとっても利用しやすくわかりやすい公共交通の利用環境の整備 については、取組方針1で実施したダイヤ改正と合わせて、涌谷町の公共交通をまとめた涌谷町公共交通時刻表を作成したほか、バス停の時刻表もわかりやすい表示に改めるなど実施いたしました。

取組方針3 地域一体の共同による公共交通の利用促進として、高齢者や学生等を対象とするバスの乗り方教室・講座を実施しました。各取組方針で実施した詳細については次ページから説明いたします。

3 ページをご覧ください。

施策に設定した「利用実態・移動ニーズに応じた町民バスの最適化」や「公共交通空白地域の解消に向けた新たな移動サービスの導入検討」の達成に向けて、丁度1年前に開催した令和7年度第1回公共交通会議では、過去の利用者アンケート調査や利用状況を踏まえた町民バスの課題・不便さを洗い出し、それを解決するための5つの方向性について、資料記載のとおり事務局より提示したところです。

その後、具体的な公共交通再編検討に当たっては、県内の複数時自体にて、運行手法の見直しや新しい運行計画の提案などを手掛けている特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センターに再編検討業務を委託し、技術的指導・助言を貰いながら再編案を検討。過去のバス利用者を踏まえた利用者ニーズの分析や、町内交通事業者へのヒアリングを通じた課題の整理などを実施し、それらを踏まえた涌谷町の新たな公共交通体系について、「乗合タクシー事業」の導入など提案がございました。

4 ページをご覧ください。

乗合タクシー事業について、町民バスのうち、篁岳山地区を運行する篁岳山線、成澤地区を運行する小里循環線の2路線を、利用者が少ない利用実態に加えて、山間の道路が狭く、見通しが悪い運行ルートでバスでの運行では安全運行に懸念があったことから、この2路線を廃止し、新たな交通手段として涌谷町乗合タクシーを導入することを決定し、今年度1年間を実証運行期間として先月より運行開始したところです。

5 ページをご覧ください。

町民バスの最適化に向けて、乗合タクシーへの転換のほか、町民バスのダイヤ改正を実施し、鉄道との乗継や利用の多い日中の買い物・通院利用を考慮した、往復で利用できるバスとなるよう取り組んだところです。

また、ダイヤ見直しのポイントとしてはほかに、朝晩の通勤・通学便は利用も多く、今後も必要な交通サービスとして改正せず、引き続き対応しております。

これらのダイヤ見直しのポイントを踏まえまして、町民バス5路線のうち、二の袋線と上郡循環線はダイヤ改正せず、花勝山線、篁岳線猪岡、篁岳線大谷地の3路線で今回ダイヤ見直しを実施いたしました。

資料6 ページをご覧ください。

ダイヤ見直しを実施した3路線について、改正前後のダイヤを比較しております。

なお、実線箇所が上り線、キリトリ線箇所が下り線、改正前のダイヤにはダイヤ毎に過去の平均乗客者数を表示しております。

花勝山線につきましては、7時台と15時台のいわゆる朝夕朝晩の小学生高校生の通学便はこれまで利用がございましたので、こちらは現状維持とした上で、日中の便については、9時半に出発して帰ってくるのが1時過ぎというところで、往復利用に適してない可能性を考慮しまして、午前中に往復できるよう、ダイヤを設定しまして利用向上を図ったところです。

篁岳線猪岡につきましては、利用の多い午前の便は継続、利用の少なかった午後の便は病院などの午後の診療時間に対応して、かつ往復で利用できるような上り線と下り線のダイヤ改正を行いまして今後利用向上を図るものです。

最後の箕岳線大谷地については、利用の少ない夕方便を午後の買い物便として、往復できるような時間間隔を設けた上で設定しまして今後利用向上を図っていきたいと考えております。

7ページをご覧ください。

取組方針2誰にとっても利用しやすくわかりやすい公共交通の利用環境の整備においては、鉄道との乗継利便性向上策の検討として、ダイヤ改正に合わせて今回新たに、お手元にも配布しております涌谷町公共交通時刻表を作成しました。

これまではバス時刻表のみだったものを、バスだけでなく町内タクシー会社の情報や鉄道のダイヤを掲載したほか、バスと鉄道の乗継が便利なダイヤ組み合わせを紹介し、バス・鉄道双方の利用向上を図るものです。

このほか、分かりやすい運行情報の提供として、バス停の時刻表も改修しまして、比較表を8ページに掲載しております。これまで上り線と下り線で何時に今いるバス停にバスが来るかのみの表示でしたが、各バス停への到着時刻を表示し、利用者が利用を計画しやすい表現に改めたものになります。

再度7ページに戻りまして、取組方針3地域一体の協働による公共交通の利用促進として、バス利用を増やすための取組として、涌谷町民生委員児童委員協議会にて、地域公共交通計画などで実施している公共交通への取組についてご紹介する説明会と、町民バス乗車体験会を実施し、地域の福祉を支える民生委員の皆様へ、暮らしの足について理解を深めてもらう取組を進めたほか、町内にある障害児福祉施設でもバス乗車体験会を開催し、子ども達にとってバスをより身近なものとして認識してもらうことに加えて、障害者手帳を提示すれば無料でバスが利用できる制度を知ってもらうことで、利用促進を図ったものになります。

令和7年度については、主にこのような事業に取り組んでまいりました。

次に9ページをご覧ください。続いて、今年度の事業計画についてご説明いたします。

取組方針1の地域住民に寄り添う公共交通の運行サービスの最適化では、ダイヤ改正後・乗合タクシー転換後の町民バスの利用状況把握や、乗合タクシーの来年度からの本格運行に向けた準備を、取組方針2の誰にとっても利用しやすくわかりやすい公共交通の利用環境の整備では、GTF Sデータの整備による運行情報のデジタル化に向けた取組を、取組方針3地域一体の共同による公共交通の利用促進については、高齢者や学生等を対象とする乗り方教室や講座の継続実施、涌谷町社会福祉協議会で実施している「マイ時刻表」作成事業の継続実施などを主に実施してまいります。続いて施策毎の具体的な取組内容についてご説明いたします。

10ページをご覧ください。

引き続き町民バスの最適化に向けて、ダイヤ改正後・乗合タクシー転換後のバス利用状況を把握し、また、利用者アンケートを実施して、ダイヤ改正で想定していた往復利用などの移動ニーズに対応できているかを分析し、交通計画の活動指標に設定した計画期間中に2回以上のダイヤ・路線見直し実施に向けて、見直しが必要なのかも含めて、検討していきます。

また、乗合タクシーでは、来年度からの本格運行に向けた、利用状況の把握や、ニーズを踏まえた対象エリアの拡大等を検討するとともに、本格運行の許認可に向けた関係機関との諸手続きを実施いたします。今後運行を継続していくにあたって、国のフィーダー補助金を活用するた

め、公共交通計画書に涌谷町乗合タクシーの事業内容や補助金を受ける旨を記載する必要があるため、計画書に記載する本格運行に向けた事業概要の決定及び、計画書の変更について、今後2回目の公共交通会議を開催し、協議したいと考えております。現時点では、11月頃に開催を予定しております。

11ページをご覧ください。

続いて、取組方針2の分かりやすい運行情報の提供として、バスの運行情報をネット上で容易に検索できるようにするため、GTFS（標準的なバス情報フォーマット）を活用した運行ルートや時刻表のオープンデータ化ということで、グーグルマップへの涌谷町民バスの運行情報を掲載することで、電車の乗車案内のように、バスの運行情報も含めてルート検索されるようになり、バスを利用しやすい環境整備に取り組みます。

これが、今年度宮城県で、訪日外国人旅行者などの受け入れ環境整備のために、県内のコミュニティバスを対象にデジタル化への支援を実施するため、これに乗じて整備する予定です。

取組方針3の公共交通の利用促進に向けた取組については、昨年度実施した乗り方教室や講座など継続実施していくことに加えて、涌谷町社会福祉協議会で実施いただいている「マイ時刻表」、買い物や病院にバスで行きたいなど目的に応じて自分専用の時刻表の作成支援を実施いただいておりますので、今回ダイヤ改正があったことで、新たに作成される方もいらっしゃると思いますので、引き続き対応いただけるよう、町のほうでも協力していきたいと考えております。

以上で、令和7年度の事業総括及び令和8年度の事業計画についての説明を終わります。

(遠藤会長) ただいま説明のありましたことについて、皆様の方から様々な立場を踏まえて、多様なご意見等を賜ればありがたいと思いますのでよろしくご意見申し上げます。何かございますか？

(徳永委員) 7ページにある説明会と体験会について、これは高齢者が直接の対象者という訳ではなく、民生委員の方と。障害福祉施設の児童が対象ということでしょうか。

それを踏まえて、今年度は対象広げていくのか、またはこれを継続していくということなのか、今後の展望についてはいかがでしょうか。

また、乗り方教室という言い方がですね、どうやって乗り降りするのかとか料金がいくらののかとか、そういうところだけの印象を受けますので、そうなるそれは別に教えて貰わなくてもいいよっていうふうになる気がするんですよ。

それよりはバスがどういうふうを活用できるのかということとしっかりと教えていくという、時刻表の見かたとか、これを使うとこんなところにこう行って帰ってくれるんだよというようなそんなことをしてもらおう機会というところがより重要なんだろうと思いますので、そういうニュアンスがちゃんと伝わるような形で開催するのが良いと思います。

(事務局) 委員のご指摘のとおりだと思います。これは担当の考えになりますが、例えば高齢者向けの体験会であれば、地域の方で集まってお買い物に行く等のイベント的なところから、バスの

利用に関心を持っていただければと思いますので、そういった地域の集まりから間口を広げていければとは思っております。

(徳永委員) 関係機関との連携の部分で、関係団体を通じて PR を行うだけではなく、例えば町で行っている行事やイベントとかで、バスを使う人が集まりやすい時間に開催時間を設定するとか、そういった連携も重要かなと思います。そのような働きかけもぜひお願いしたいです。

(徳永委員) 今回ダイヤ改正したことによって、例えばヨークでの買い物であれば、利便性は確かに変わったなというふうには見えるんですけども、一方で病院に行った場合には若干余裕が少ないのではないかという気がしていて、そのあたりどのバス停でちゃんと多く利用できてる・できていないといった辺りを丁寧に見ていただいて、利用実績を見ながらですね、更なる改善が必要なのかどうかというあたりを探っていただけるとありがたいなと思います。

(徳永委員) それから、バス停の時刻表なんですけど、これ単一路線のためのバス停であれば、資料の形でいいと思うんですけども、問題はまちなかの共通区間ですね、複数路線のバス停はどういう形になっていますか。

(事務局) 共通区間のバス停の時刻表は今手元にはないのですが、イメージとしてはお手元に配りました交通公共交通時刻表の 11 ページの、いわゆる涌谷高校から終点のヨークベニマル抜粋したまちなかの時刻表がございまして、ちょっとこれをちょっとアレンジした形でバス停に掲示しております。

どうしてもまちなかだと各路線のバス停に加えてこのまちなかの全部のバス停を入れるとかなり文字の量が多く見づらいものになってしまうので、利用が多いまちなかのバス停を抜粋しまして掲載をしているところになります。

(徳永委員) 情報量が多いのでまちなかの区間は大変だったなと思いました。

ついでになりますが、その冊子の 15 ページのところに、電車との乗継を整理していただいているんですが各路線入り乱れてるものですから、ここを 11 ページのように色分けできなかったのでしょうか。

(事務局) 今後改修し、見やすくしたいと思います。

(遠藤会長) ダイヤ改正や一部路線の乗合タクシー化など、町民バスで大きく見直しを行ったところですが、運行事業者の目線で、仙北富士交通様の方で今回の改正で表面化した問題などはありませんでしたか。

(佐藤委員) 改正する前はうまく移行できるか心配なところはあったんですけど、実際に改正してからは現状特に問題は起きてないです。乗務員にも対応してもらっています。

(岩淵委員) 時刻表の15ページのJRの時刻表なんですが、まず1点目がJRさんってほしい3月に毎年ダイヤ改正をしていると思うんですけど、この時刻表も、電車のダイヤ改正の都度印刷するのかという点、2点目に、書いているのが18時・19時台のダイヤまでで、もっと遅い時間帯の電車もあったと思いますが、乗継だけを考えると夜間は書いてないとかそういった理由はありますか。

(事務局) 電車のダイヤ改正は、直近のものだと令和8年4月1日からのダイヤ改正の詳細は3月に入ってから公表されていたと思います。修正して印刷するとなると時間も必要ですので、どの時点で情報が公表されるかという懸念もございしますが、対応できるものについては対応していきたいと考えてはおります。

また2点目については、お見込みのとおり夜間の電車ダイヤは記載してなくて、左下に注意書きで18時台の電車まで記載しておりますと記載しておりました。どうしても文字量を増やすと文字サイズを小さくしなければいけなくなり、そうなるとうまくご覧になるであろう高齢の方が見づらくなるという点と、バスとの乗継も考慮すると日中の利用が一番多いと思い、夜間については省略し対応いたしました。

(徳永委員) 確かに左下に注意書きはあるんですけど、読む方は見逃すと思うので、上のタイトルのそばに18時台まで抜粋と大きく書いておいた方が、誤解が少なくて良いと思います。

(事務局) ご指摘のとおりだと思います。先ほどの件と含め、今後改修したいと思います。

(新田委員) バスを廃止した2路線について、住民の方からなにか意見はありましたか。

(事務局) 事例としては、篁岳山地区の方から区長を通じて、今までバスだったので大人数がまとまって利用できたが、タクシーになると最大でも4人しか乗れないと。いままでのように大人数での移動にはどうすればいいですかといったお問い合わせがございました。

過去のバスの利用状況だけ見ますと、篁岳山の地域で、催し事などでまとまった人数がバスで移動するケースがずっとない状態だったので、そういった利用希望があれば、タクシー事業者とも調整して個別で相談対応させていただきますとお伝えしまして、一旦ご理解をいただいたところでございます。ほかにもこれからは何時のに乗ればいいのかとか、そういったお電話もございました。

(徳永委員) その篁岳山地域の方ですけれども、バスの利用実績と比較すると乗合タクシーの利用が少ない。それについて、予約しないといけないから敬遠されてしまったのか、単にバスがなくなった情報しか入ってなくて、代わりにこのデマンドがあるんだというのが浸透していないということなのか。

他の自治体でもデマンドに切り替えた際に、最低でも3か月から半年、1年と浸透するまで

に時間がかかることはそのとおりですが、成沢地区と比べるとかなり実績として少ないということ、ちょっとその辺りしっかりと見ていかないと。

地域の声とかは役場に入ってきたりしてますか。

(事務局) 利用者の方からの声とかは直接は入ってきておりませんが、バスやタクシーのドライバーさんから伺った話では、成沢地区では一人の利用者が通年してバスを利用していたそうで、その方が乗合タクシーに転換しても引き続き利用していただいているということで、転換が上手くいって初月から16回の利用があったのかなと感じております。

一方で箕岳山地区については、これまでバス利用をしていた方、固定客と思われる方がちょっと特定できていないというのが正直なところでして、なのでご指摘のとおり使い勝手が悪いのか、周知が足りていないのか等の原因は事務局の方でも分析できておりませんが、是非地域の方には利用していただきたいと思っておりますので、利用してもらえるような制度に、取り扱いをどう変えていくのかというのは今後検討していく必要があると思えますし、逆にこうした方が良いんじゃないかというご意見があれば、それは前向きに検討させていただきたいとも考えております。

(鈴木委員) 高齢者の免許返納は警察だけでなく、社会的にも問題になっているかと思いますが、涌谷町に限らず、免許返納したいんだけども生活の足が不安だとかいう声はどこでも聞こえてきますので、やはり推進していくためにはこういった公共交通を充実させて、この地域には限らないんですけどもやっぱり免許返納したいんだけども、生活の足が不安だとかいう声はどこでも聞かれますので、やはり返納していただくためには公共交通をですね、充実していただいて、周知していただければ進むのかなとは思っておりますので。是非皆さんの利便性も考慮した上で今後も継続していただければと思いますのでよろしくお願いします。

(遠藤会長) その他にご意見はございませんか。なければ、次の議題に移ります。

報告事項(3) 乗合タクシーの導入後利用状況について 事務局より説明をお願いします。

(事務局) 涌谷町乗合タクシーの導入後利用状況について、事務局よりご説明いたします。

資料2の13ページをご覧ください。

涌谷町乗合タクシー事業の概要について、改めての説明になりますが、これまで町民バスが運行していた成沢地区・箕岳山地区において、バスに代わる新たな公共交通サービスとして今年度より導入しました。

電話による事前予約式の乗合タクシーで、利用できる時間が運行ダイヤであらかじめ決まっております。午前と午後にそれぞれ1往復、それぞれの地区から町中心部のバス停まで移動できる事業になります。

14ページをご覧ください。

実証運行開始に向けた周知活動として、当該地区の区長へ個別に訪問し事業について説明、そ

の後区長から地域の集まり等での事業周知をお願いしたほか、3月1日に乗合タクシーのチラシを町内全戸配布などで周知しておりました。

それらを踏まえて、実証運行開始した令和8年4月の1か月間の利用状況は、成沢地区では黄金橋バス停から町中心部まで16回（8往復分）の利用が、箕岳山地区では、涌谷駅バス停から箕峯寺までの片道利用1回の利用に留まるといった結果でした。

資料右側に参考として、令和6年度及び令和7年度における成沢・箕岳山地区の年間バス乗降者数を掲載しており、その利用状況を踏まえると、成沢地区ではこのままのペースで利用が推移していけば年間の利用数で前年度までのバス利用と同程度の利用が見込まれるため、成沢地区における移動需要は引き続き存在しており、乗合タクシーへの転換は、地域の実情に応じた効率的な運行形態として一定の効果が表れているものと考えております。

一方で箕岳山地区では、過去のバス利用と比較すると利用が伸びていない状況です

住民への周知が十分でなかった可能性や、運行時間帯が合わなかった、電話予約による手間が利用しづらかった等の可能性が考えられますが、現時点では、利用が少なかった理由については明確な要因は特定できておりません。

今後は、引き続き利用状況を把握しつつ、2地区における利用者アンケート、地域へのアンケート等を実施して、現状の運行形態や利用方法、案内方法などが適切か、利用促進や不便さの解消に向けて、取り扱いをどう改めれば必要なサービスを提供できるか、そして来年度からの本格運行にどう繋げていくか、引き続き検討していきたいと思っております。

最後に、資料右下に事務局草案として、適切なサービス提供に向けた利用方法などの改変例を一例として挙げておりますが、本日参加いただいた委員の皆様からも、利用促進に向けた工夫や改善の方向性について、ご意見をいただければ幸いです。

以上で、乗合タクシーの導入後利用状況についての説明を終わります。

(遠藤会長) ただいま説明のありましたことについて、何かございますか？

(佐々木委員) 先ほど利用状況を把握して、今後実施する利用者地域アンケート等を通じて改善していくという話だったんですけども、アンケートにお答えする方もだいぶ高齢だと思っておりますので、簡便に記入しやすい堅苦しくないようなアンケートをしていただくと、声が反映されるような気がします。

(徳永委員) 成沢地区では、1か月に8日使っているということですから、これが今後増えていけばいいのですが以前のバス利用状況と同じくらいということであれば、ある意味地区を2つに分けてやる必要があるのかというところで、1地区にまとめることでより利便性を高められるのではないかという考えも出てくると思うので、そこは一つ今後の課題になると思っております。

それと、若干一つ気になるのが、名前を乗合タクシーとしたことで利用者に誤解を与えていないかという点。

タクシーと同じような感じだと思っていただけ時間が決まっていいて自由に使えないだとか、乗合なので一人では利用できないんじゃないかとか、そういった誤解がないのか、名前はタク

シーですがやっていることは実質バスですので、名称にタクシーは付けなくてもいいのではというふうには私は思っておりましたが。

(事務局) 名称を巡っては、昨年度の会議でも意見をいただいたところではございますが、なかなか一言で事業の名前から、こう利用すればいいんだと思ってもらえるような名前はなかなか難しいかなと。なのでどうすれば利用できるのかといった制度はチラシ等で周知をしておりますし、個別にお問い合わせいただければ、担当としましても一人一人に対してこう利用できますよと、そこは寄り添って対応していきたいというふうには思っております。

(徳永委員) いずれこの地区だけじゃなくて、他の地域にも拡大するといったことが出てくると思うので、たぶんその際に愛称を募集して、利用者に、地域の人に覚えてもらえるような形で考えるのもいいかなと思います。利用者も使い慣れてくると～号とか呼び名をつけている場合もあるので、利用者になんと呼んでいるか聞いてみるのもいいと思います。

(小山委員) 利用者アンケートなどは1回のみ実施予定でしょうか。

(事務局) そうですね利用状況見ながら、本格運行を検討するために秋に入る前ぐらいにはまず1回調査したいと考えております。そこで十分な数が取れなければちょっと追加で実施というのは考えておりますがまず1回のみを考えてます。あとはそれを毎年継続してアンケートを行って、運行に反映していくのかどうかというのは今後の検討になるかなと思っております。

(小山委員) アンケートの対象者は利用者でしょうか。導入している地域の方でしょうか。それとも町内全域に実施予定でしょうか。

(事務局) 乗合タクシーに関するアンケート調査については、導入している地域を対象に予定しておりました。それ以外の現在バス運行している地域については今のところ考えてはございません。

(徳永委員) アンケートをしたとして、恐らくニーズがないのはそれなりの理由があると思うので、そこをきちんと意見を集めて分析するところが必要だと思います。

箕岳山地区の利用が非常に少ないのは、それなりに理由があつてこの利用状況だと思うので、乗合タクシーは代替手段としては非常に使えるんじゃないかと思っておりますので、家族が送迎してくれるとか他の手段があるから地域の方が使ってませんか、生活実態が分析できれば、じゃあ家族が送迎できないときは乗合タクシーがあるよと、そういったアプローチもできるのかなと思います。

(遠藤町長) 行政運営する側としては、病院・福祉の問題と、その足の確保というのは本当に大事な行政運営の要だと思っております。

それを可能な限りうまく回していきたいというのがこちらの思いではあるのですが、そういった意味で、今後の動向によっては、地方税も入れて支援を拡大していくというようなものに繋がってきますので、その点を踏まえながらも、今後とも皆様方のご指導いただきたいと思しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(遠藤町長) そのほかございませんか？なければ、本日の議事は全て終了しました。  
事務局に進行をお返しします。

(事務局) 委員の皆様から様々な意見をいただきありがとうございました。  
では最後に、次回の会議につきましては、資料でもお示ししたとおり11月頃をめどに開催を予定しております。  
以上をもちまして、令和8年度 第1回涌谷町地域公共交通会議を閉会いたします。  
皆様、お疲れ様でした。